

B 「書くこと部会」 令和3年度の研究方向

書くこと部会部長 可児市立東可児中学校 梅田 佳宏

令和3年度 中国研 研究主題

生きてはたらく言語能力の育成 ～言語能力の高まりを実感する言語活動の充実を通して～

目指す生徒の姿

- ◎「もっと知りたい」「書きたい」と魅力や必然性を感じ、見通しをもって主体的に学習に向かう姿
- ◎論理の展開や表現の仕方、効果について考えたり、吟味したりして、自分の考えを書く姿
- ◎対話や議論を通じて、自分のものの見方や考え方を広げ、自分の表現に生かしていく姿
- ◎「こうすると～な文章が書ける」「確かによくなった」「もっと～な書き方を知りたい」と実感をもつことができる姿

令和3年度 「書くこと」部会 研究主題

相手，目的や意図，場面や状況に応じて， 考えが伝わる文章を書く能力の育成 ～論理の展開や表現の効果を考え，工夫して書くことができるための指導の在り方～

研究仮説

- ・「この題材・この時間でしか付けることができない力」とは何かを明らかにした上で、指導事項を明確にし、魅力や必然性のある題材を設定すれば、主体的に学習に向かう姿を育成することができる。
- ・例文の比較などから得た自分の考えをもとに、仲間との対話や議論を通して、論理の展開、表現の仕方や効果について考えたり吟味したりする言語活動を意図的に仕組み、個に応じた指導・援助を行えば、自分の見方や考え方を広げ、伝えたい内容を工夫して書く能力を育成することができる。

(1) 指導計画の工夫

- ①「言語活動一覧表」及び「言語活動具体化一覧表」をもとにした言語能力の明確化
 - ・指導計画において、育成したい資質・能力を明確にし、適した言語活動を設定する。
 - ・単元の出口における、目標を達成できたといえる生徒の姿を教師が具体的に描く。
- ②生徒が魅力や書く必然性を感じる題材の工夫
 - ・学校や地域の特性、生徒の実態に応じて、設定する題材を工夫する。
 - ・「書きたい」「書いてみたい」と思える題材の工夫をする。

(2) 指導・援助の工夫

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導過程の工夫
 - ・ペアや小集団、及び、小集団の編成等を工夫する。
 - ・対話や議論の目的や視点を明確にするとともに、展開や表現の仕方を確認・吟味する学習過程を位置付ける。
- ②「苦手を克服する手立て」「得意を伸ばす手立て」等、個に応じた指導・援助の充実
 - ・予想される困り感を解消するための、モデル提示や指導・援助の方法を考える。
 - ・得意な生徒が、より多面的、客観的に思考できるような指導・援助の方法を考える。

(3) 評価の工夫

- ①単元や単位時間の終末における自己の高まりを実感できる評価の在り方
 - ・生徒が自分の習熟の度合いを効果的に捉え、評価できる場を設定する。
 - ・教師にとっても生徒にとっても明確で変容を捉えやすい評価の方法を工夫する。